



宿舎事業を中心とした 国立公園利用拠点の 面的魅力向上検討会

第3回検討会

令和5年3月14日（火）

北海道弟子屈町川湯温泉の事例紹介

弟子屈町・川湯温泉のご紹介

見どころ

摩周湖

霧・透明度・神秘・
登山トレイル



屈斜路湖

カルデラ湖・雲海・
釧路川・釣り・温泉
カヌー・SAP



硫黄山

活火山・花畑・
トレッキング・
エコツアーリズム大賞



食の宝庫

牛乳



摩周そば



ワイン【葡萄色の旦】



温泉熱栽培の
マンゴーと
イチゴ



全道一の
黒毛和牛

【摩周和牛】



川湯温泉の成り立ちと繁栄



硫黄山の硫黄採掘作業員用の施設としてスタートした温泉地

農業漁業の閑散期にひがし北海道全体から湯治的な活用によって地域の代表的な温泉地に

バスで全道を回るなどの団体ツアーを主要なターゲットとして宿泊客数が増加

最盛期には下駄と浴衣で歩く人が溢れた（平成3年度56万人）

近隣の観光地との価格競争で宿泊料金を下げる

旅行形態の変化と温泉街の凋落

時代に合った戦略。間違いではないが、いつまでも続かない

魅力的だが管理が難しい温泉。メンテナンス費用がかかり、テレビや冷蔵庫、エアコンなどの設備の耐用年数が短い

施設全体の補修までお金が回らず、施設が老朽化して更に宿泊単価が下がる

交通の要衝で立地が良すぎるから通過型の観光地だとあきらめ

阿寒やウトロからあふれた人が来る温泉街というあきらめ

見どころが多すぎて絞れない

建物をそのまま残して廃業するホテルが出始める

隣がやめたら、うちにお客さんが来るという誤算

地元資本だけで頑張る限界

廃屋により温泉街の魅力が低下して更に廃業するホテルが相次ぐ

行政も同業者も手を出せずあきらめムードが漂う

温泉の魅力を特別な価値と金額に変える努力が実を結ばず疲弊

満喫プロジェクトで変わる温泉街と意識



廃屋ホテルの解体風景

跡地で行われた
KAWA A A A R U川湯



町が取得した
川湯温泉街の廃屋

廃業したホテルの権利関係を町が弁護士と協調して整理

町が建物と土地を取得し、環境省に譲渡して廃業したホテルを解体

独自の地域会議での関係者の議論

温泉街が変わる住民の期待 (かわーる)

公募前に環境省がサウンディングを実施

温泉街の廃屋を整理して景観を良くする必要性

町独自でも建物を取得して解体

環境省の公募で星野リゾート進出

協議会を設置し、マスタープランを策定して選ばれる温泉街へ

満喫プロジェクトとゼロカーボンと地域振興



阿寒摩周国立公園活性化に向けた
摩周エリアの観光資源磨き上げ連
携協定



摩周湖カムイテラス
(摩周湖観光協会提供)

川湯地域会議での検討
弟子屈町観光振興計画の策定
地域経済活性化推進機構など7者で磨き
上げ連携協定
摩周湖カムイテラスの整備
硫黄山レストハウス改修と面的整備
ロングトレイル
ゼロカーボンパークの登録
地熱発電の可能性
ワイナリー・チーズ工房
若者の移住とまちづくり会社の設立
屈斜路湖の動力船規制
ふるさと納税

今後の川湯温泉の課題と進むべき道



マスタープランのイメージ図

マスタープランと利用拠点整備改善計画の策定
高付加価値化と適切な単価設定
数だけを求めずしっかりと経済を回す
アクティビティの充実
立地を生かした滞在連泊拠点戦略
ロングトレイルの拠点づくり
既存事業者全体の経営の安定化
繁忙期と閑散期との差を埋める
新たな投資や進出を生む
恒久的な財源の確保（入湯税他）
土地のコントロール
星野リゾート進出を起爆剤に
湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街